

# 10/30 ふじしま秋まつりつや姫の里の収穫祭 好天に恵まれ盛大に

# 藤島民報

2016年11月6日

第1073号

編集発行  
日本共産党藤島支部

生活相談所  
加藤鉦一（宝徳）  
Tel.0235-64-3941  
携帯090-8929-4221  
HPは「藤島 加藤鉦一」と検索で入力。

発行経費にカンパをお願いします。民報配布者にご連絡下さい  
(月177円程度)  
10月 34人 42,746円  
9月 47人 24,190円



物産販売コーナー



じもと名店の味「わたなべ」の特製弁当に長蛇の列



東洋大学社会学部のすいおうクッキーを試食(左が鶴岡に移住した持田絢乃さん)



岩手の台風10号被災者へ救援カンパを呼び掛けるライオンズクラブ



第27回日本蕁文化大祭



JA庄内たがわの収穫感謝餅つき



庄内農業高校



天気に恵まれ恒例の藁馬も大活躍



## 地元有志で 藤島駅舎改築および 開業98周年記念の集い

JR藤島駅舎の改築および開業98周年記念の集いが30日、駅前町内会館で開かれ38人が参加しました。

新しくなった駅舎に集まり記念撮影後、会場で長南忠氏が「音の風景」として藤島駅の思い出を語りました。

太田榮市氏は191

かにかくに  
藤島駅は  
恋しかり  
思い出の駅舎  
思い出のD51  
(成澤功)

8(大正7)年9月21日開業の貴重な記念品(丕)を披露しました。

## 私の昭和 47

鈴木重雄(89歳・八色木)

常務理事を置き健全経営を目指す

組合長が村長兼務であつたので、八色木の小鷹徳治さんが常務理事に就任した。

小鷹さんは海軍軍人として太平洋戦争に参加し、南方洋上で九死に一生を得ただけあつて気骨のある人だつた。

自ら酪農家として畜産振興、特に稲作プラス酪農経営の実践に力を入れ、月山牧場の開発や藤島町を庄内有数の酪農地帯にし、牛乳処理加工所を建設。所長となり後に庄内乳業を藤島町に誘致する基礎を作った人である。



河野一郎

1898(明治31)年  
神奈川県生まれ、19  
65(昭和40)年没。  
54(昭和29)年第1次  
鳩山内閣で農林大臣、  
57(昭和32)年経済企画  
庁長官、61(昭和36)年  
7月農林大臣、62(昭和  
37)年7月建設大臣、64  
(昭和39)年7月第3次  
池田内閣でオリソピツ  
ク担当大臣。

三白眼の政治家と言  
われた。辞典を引くと  
黒目が上に偏っている  
ために、瞳の左右と下  
部の三方が白く見える  
感じの目。人相学上悪  
い目つきとされる。言  
い得て妙である。言い  
出っぺはマスコミの  
ようだが、ほんとうの  
顔相も河野自身の性格  
も、その通りだったな

三笠宮が死去

旧日本軍の残虐行為批判

昭和天皇の末弟、さん会の場で、「旧陸軍  
古代オリソピツ史の研  
究者として知られる  
三笠宮崇仁(みかさのみや  
たかひと)氏が、至るまで深く気がた  
みや・たかひと)氏が、至るまで深く気がた  
27日午前8時34分、心  
不全のため、入院先の  
病院で死去しました。  
100歳でした。急性  
肺炎と診断され、5月  
16日から入院していま  
した。  
1915年12月2  
日、大正天皇の四男と  
して誕生。太平洋戦争  
中の43年1月から1年  
間、支那派遣軍総司令  
部参謀として中国・南  
京に赴任し、終戦時は  
陸軍少佐でした。  
戦後、手記「わが思  
い出の記」(56年)で中  
国での旧日本軍の残虐  
行為を批判。98年に来  
日した江沢民中国国家  
主席(当時)に宮中晩

三笠宮崇仁氏の死去を報  
じる「しんぶん赤旗」11月  
28日



あと私は今でもそう信  
じている。  
ちよつとしたことで  
周りとトラブルを起こ  
し、現職中に右翼に恨  
まれて二宮の自宅に放  
火され、豪邸が丸焼け  
の事件もあった。

息子が河野洋平、孫  
が河野太郎である。政  
治家の子どもたちの命  
名はなるべく簡潔単純  
な日本語がよろしい(10  
月23日投票の福岡6  
区の当選者は鳩山家5  
代目の二郎だ)。

建設大臣在任中の事  
件を私は今でもはつき  
り記憶している。  
昭和38年だったか39  
年か、河野が庄内地方  
の主要道路事情の視察  
に来ることになった。

この情報に私は大変  
興味津々だった。予定  
日の1ヶ月程前、鶴岡  
〜酒田間の7号線を車  
で往復した。歩道の並  
木や雑草の現況を知る



河野一郎(写真・ウィキペディア)

三笠宮崇仁氏(昭和天皇末弟・  
11月26日死去)も強調した「政  
府の行為によって再び戦争の惨  
禍が起ころることのないやうにす  
ることを決意」を捨てる

―あらためて憲法を学ぶ 青山崇

私が授業で最も強調  
した憲法前文の一節で  
ある。戦争は政府が起  
こすのだ、個人と個人  
の喧嘩のようなもので

ためである。並木は手  
入れが行き届かず、ま  
た地上はボウボウ生い  
繁る雑草に覆われてい  
た。まるで今の国道・  
県道と同じように。

視察に来た河野の車  
に遭うことはなかった  
が、帰京後数日経った  
時点で鶴岡〜酒田間を  
再び車で走ってみた。

7号線は変貌を遂げ  
ていた。まるで別の道  
路がいきなり造成され  
たように。これが10日  
ほど前、私が視察した  
道路なのか、信じられ  
ない風景だった。

農林大臣、建設大臣  
在任中、自分の命令に  
従わなかったりサボつ  
たりを見つけると、河  
野は即刻配置を換えた  
り、或いは情けの無い  
降格人事を断行した。

当時の東北建設局長  
は、この河野の性格や  
手法を熟知していたの  
である。  
さて現在、私たち住  
民の周りの道路の状況  
はどうなっております  
でしょう。私  
が言うまでも  
ありません。  
読者の皆さん、  
よく観察し  
て下さい。

はじめ、電力管理法、  
国民徴用令、米穀配給  
統制法、賃金統制令、  
生活必需物資統制令な  
どで、お国のため、天  
皇のためとして国民を  
戦争にかり立てる戦争  
体制を強めたのである。  
三笠宮氏は憲法制定  
時の議会で「日本は真  
に平和を愛し絶対に侵  
略を行わないと言う表  
裏一致した誠心のこも  
った言動をもつてして  
世界の信頼を回復せね  
ばならない」と発言。  
また、1998年来日

した江沢民中国国家主  
席に晩餐会で「旧陸軍  
軍官として南京に駐在  
した。自分の目で日本  
軍の暴行を見た。今に  
至るまで深く気がとが  
めている。中国の人々  
に謝罪したい」と表明  
したという(『しんぶん  
赤旗』11月28日付)。  
皇族であった氏の遺  
志に耳を傾け、「真に平  
和を愛し絶対に侵略を  
行わない」「誠心のこも  
った言動を」行うべき  
である。



麻で思い出すこと

70年近くも前のこと  
になるが、コマ回しの  
縄の先つちよに麻が入  
っているかどうかで、  
コマの回る勢いが違っ  
ていたのを思い出す。  
▲ここを唾で濡らすと  
強く縄をまくことがで  
き、コマの息が長くな  
るからコマブツツケは  
強かったんだが、今・  
元女優の逮捕で大麻が  
話題になっていいるから  
麻のことを少々・・・

▲当時、麻はこの辺の  
畑には結構作られたよ  
うに思う。夏が過ぎる  
と刈り取って来て堀に  
浸けて置き、やわらか  
い部分を腐らして剥い  
だのが麻になる。

▲残った木部をオガラ  
と言って黄燐を付けて  
マツチとして使ってい  
たと思うんだが。オガ  
ラは軽く弱いもんだか  
ら、子供らは弱虫をか  
らかってオオガラー背  
負ってコゲーネコゲー  
ネと囃していた記憶だ。

▲七色唐辛子で目立つ  
粒が麻の実で、オダネ  
と呼ぶと思う。鳩を飼  
ったとき鳩の餌を買う  
とこれが入っており、  
鳩の好物だったことを  
思い出す。

▲剥いだ皮は押さえて  
しごき、不純物を取り  
払って乾燥したのが麻  
だと思うが、詳しい人  
に教えて貰えると思  
りたいですネー。  
▲その頃マニラ麻と言  
って、太いロープや何  
を入れたか大きなカマ  
スのような入れ物を思  
い出すが、地元で採れ  
る麻は貴重品だったの  
ではないだろうか。

▲麻をないこんだ縄は  
丈夫で水にも強く、ゴ  
ム合羽がでる前までは、  
麻が多く使われた蓑と  
共に、長持ちするから  
重宝したようです。  
▲これが大麻とは別  
物でしょうかのー。  
神事の際、玉串にあ  
るのが麻で、正月に  
受けるのを大麻と呼  
ぶが?。(石川)